

町内三ヶに街の

清掃活動実施

4月22日、雪解けがすすみ、道端の空き缶などが目立つこの季節に町内一斉のクリーンアップ作戦が行われ、多くの町民が額に汗をにじませながら活動しました。

多くの地区では、早朝より作業が行われ、道路沿いの側溝に落ちていたナイロン袋や海岸線に打ち寄せられた漂着物を拾い集めていました。

この日集められたゴミは全体で5.5トンで、中には自転車やガスコンロといったものもありました。美しい環境を次の世代に残していくためにも環境美化にご協力をお願いします。



ミズダコ漁盛んに

4月17日、上ノ国周辺の海域では春の訪れと共に始まったミズダコ漁で活気づいています。

ひやま漁協上ノ国支所によると町内では30軒ほどの漁業者がミズダコ漁に従事しており、「たこいさり」と呼ばれる仕掛けを使い漁獲されています。

町内では主に4月、5月と11月頃に漁が行われ、取材当日は、1匹20キロを超える大物を含め合計で約340キロの水揚げがありました。この日水揚げした漁師の一人である森一夫さん（字上ノ国）によると「今日はまずまずの漁があった。今後も豊漁が続いてほしい」と話していました。

ミズダコは平年並みの1キロ当たり700円ほどで取引されており、主に道南の専門業者に出荷されるということです。



作付けの準備も着々と



4月17日、町内各所では作物の種まきや苗植えが盛んに行われています。

町内でじゃがいも8ヘクタールを栽培する山下満彦さん（字中須田）は、3月上旬から温床と呼ばれるビニールハウスで16トンのじゃがいもの芽出し作業を行っていました。

じゃがいもの植え付け作業は、4月10日から順次行っており、天候と畑の状態を見極めながら5月中旬までには終了し、順調に生育すると7月中旬から収穫できるそうです。

今年も豊作を期待しています。

歌声響くふれあいサロン

4月19日、上ノ国町内会主催の「ふれあいサロン」が勝山交流館で行われ、25名が参加しました。ふれあいサロンは、高齢者の見守りネットワークの一環として始められた活動で、上ノ国町内会では今年で2年目となります。

この日はカラオケ大会が行われ、参加者は思い思いの歌声を披露。このうち、参加者では最高齢の94歳となる辻ユキさんも江差馬子唄など2曲を歌い上げると大きな拍手が送られていました。歌い終わった辻さんに話を聞くと「喉の調子が悪く声が出なかったが、一生懸命歌いました。皆さんに聞いてもらって嬉しかった」と満足そうに話していました。

町内会では今後も、麻雀大会や新聞工場見学、歴史勉強会など趣向を凝らした企画を予定しているそうです。

